

平成31年度 第9回大島町農業委員会総会議事録

平成31年度定例大島町農業委員会が、令和元年12月24日（火）午前10時より大島町3階第3会議室にて開催された。

1、農業委員会委員は、次の通り

- | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|---------|
| 1、土屋茂 | 2、春木望 | 3、五十嵐初代 | 4、小坂一雄 | 5、山本政一 |
| 6、向山吉昭 | 8、笠間隆夫 | 9、新保鐵雄 | 10、中拂晶 | 11、中村富長 |

2、農地利用最適化推進委員は、次の通り

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1、吉田義孝 | 2、澤田波夫 | 3、橋爪重徳 |
|--------|--------|--------|

3、欠席委員(農業委員・農地利用最適化推進委員)

農業委員 欠席無し 農地利用最適化推進委員 欠席無し

4、出席職員は次の通り

中田太 産業課長
山田貴訓 農業係長
山田美友乃 主事

5、付議された案件

- 日程第1： 会長報告
日程第2： 農業委員会・農業会議提携活動の成果・課題と今後の取り組みについて
日程第3： その他

6、本日の書記は次の通り

主事 山田美友乃

土屋議長 それでは、平成31年度第9回農業委員会総会を開催いたします。本日の出席委員は10名中10名、定足数に達しておりますので、総会は成立しております。なお推進委員の方は3名中3名参加して頂いています。それでは、本日の日程につきましてお諮りいたします。お手元に配布している日程表のとおりといたしますがご異議ございませんか。
(～異議なしの声 多数～)

異議なしと認めます。大島町農業委員会規則第41条に規定する議事録署名委員は11番委員と2番委員をお願いいたします。なお、本日の会議書記には事務局の山田氏を指名いたします。それでは日程第1「会長報告」です。事務局から報告をお願いします。

- 事務局(山田) 非農地証明願出書についてご説明いたします。申請人は□▲丁目▲、○○、他6名。申請地は□▲番の▲、▲番の▲。登記上の地目は2筆とも畑で現況は山林となっております。面積は▲番の▲が▲㎡、▲番の▲が▲㎡です。現地調査は12月16日月曜日、新保委員、山本委員、中拂委員の3名と事務局2名が行いました。現地は山林となっております。地目の変更は妥当だと判断いたしました。今回申請地がとても大きく特殊なケースとなるため、皆様のご意見を伺いたいということでしたので、地区担当委員さんお願いします。
- 土屋議長 山本さんお願いします。
- 山本委員 12月16日に農業委員の新保さん、中拂さん、山本と事務局の山田さん、本間さんの5人で行って参りました。この案件は書類上だと全然問題ない山林になっておりますが、余りにも面積が広いのと、木が凄い大木で恐らく70年以上経っていると思います。申請通りやっつけていいものかどうか自分達では判断しかねる案件なんです。写真をご覧になって分かるように、場所は□の直ぐ山側で、○□から写真を撮ったものだと思うんですけど、こんな小さい山ではないです、見た目より。この山がそのまま山林で貰えて、その後のことを我々が考える必要ないっていうんだったら構いませんけど、山林にしたら何に使われるか分からないから、皆さんに諮って貰いたいと思います。
- 土屋議長 よろしいですか。今5番委員さんの非農地証明願出書についてですが、ご意見、ご異議のある方いらっしゃいますか。はい、8番。
- 笠間委員 異議ではなく教えて貰いたいんですけど、畑を山林にした場合に固定資産税が下がって本人の負担が少なくなるとか、或いは山林にすると売買が自由にできるとか、本人達が申し出ていなくても何かメリットがありますか。
- 事務局(山田) そういったことはお聞きしていないんですけど。
- 笠間委員 本人の意思ではなくてルール上です。畑は山林になると固定資産税が下がるとかあるんですか。
- 向山委員 殆ど変わらないです。
- 事務局(課長) 畑と山林のどちらが安いとかは微妙なところなんですけど、売買や名義変更はし易くなります。
- 向山委員 今までも非農地証明は広い狭いに拘らず、殆ど会議でOKしているんです。今回も確かに広いですが、広い少ないは我々にはやはり関係はないでしょう。山林になった後のことは当事者がどうするかってことです。
- 土屋議長 非農地証明願出書の申請通りでよろしいですか。
(～賛成の声 多数～)
- この件は非農地証明願出書の通りでよろしいってことで。
- 山本委員 決まってからでいいんですが、認めてから後のことは全然農業委員会はタッチしないでいいってことですか。
- 土屋議長 山林にした場合に何にでも転用できますよね、実際には。ただ公園法等に係ってくれば問題になると思うんですけど、ここの場所は前例があって太陽光発電を作っているんですよ。もしそっちの方に転用されたら、その山は大変なことになるからと思って、そ

れを心配しているんですけど、農業委員会でそういう心配はいらないうのであれば別に反対しません。

はい、4番。

小坂委員 書類は農業委員会から一言書く場所があります。駄目なものは駄目で山本さんが言うように後からゴタゴタされるんだったら今反対した方が。ただ反対した理由は必要です。後で畑にどんなものができて周りの畑にどんな迷惑をかけるか知らないけど。今までも反対意見を書いたことは何回もあります。

土屋議長 4番委員から意見がありましたけど、意見を付けて出すか、それともそのままでもいいか、どうですか皆さん。

小坂委員 もう決議したものでしょ。

中村委員 今4番さんが言ったように、とにかく周りの人に迷惑がかかるのは最小限にする方法で何かお願いしたいと思います。

土屋議長 理由を書いて出すかそのままでもいいか、どうですか皆さん。

山本委員 できれば注意というか意見書を付けて。

土屋議長 意見書とは何かを作るといことですか。

山本委員 大開発になると環境が凄く変わるから、その辺を懸念しているということ。

向山委員 何かそういう噂があるんですか。

山本委員 噂はないけど前例があって、この持ち主が太陽光発電をやっているから。太陽光発電は全然木を残さないから、それを心配しているんです。環境が物凄く変わるから。

土屋議長 はい、6番。

向山委員 仮に畑から山林になった後、当事者が何に使用するか分からないけど、その場合は本人が仮に何かやるとしたら周りに通知して許可を取るはずです。先のことは我々には分からないから。

土屋議長 はい、8番。

笠間委員 □にもソーラーパネルがいっぱいありますが、何枚か畑があるけどその時は何も。□の場合は海からの風通しがよくなってどうしようもないけどね。農業委員会として一言何か付け加えて、後で農業委員会は何やっているんだと言われたら、それも不味いと思います。

土屋議長 どういう文章を付けますか。

小坂委員 少し難しいですね、何をやるか分からないんだから。

笠間委員 環境を変えないようにとか。

小坂委員 ▲町歩は広いですね、何でこんなに広い面積を持っているのか。

山本委員 ただ山林に変えるだけなら別に何も反対はないけど。

土屋議長 何かいい文章がありましたら。こういうことはやらないでくださいとは言えないし。

小坂委員 もう山林にしてしまったら駄目ですよ。

山本委員 畑でないことは確かなんですけど。

小坂委員 畑だったら山林にすることはないでしょ、このままで。

向山委員 昭和60年頃から無人になっているっていうから。もう30何年経っているんだから本人としては山林にしたいんでしょう。

- 笠間委員 山林にしたいってことは何かに使いたいっていう意思があるわけですね。固定資産税は対して差がなくて。下がるなら分かりますが。
- 向山委員 先程言ったように面積が大小に拘らず申請書が出たんだから、今まで申請書が出ると問題なく通ってきています。
- 土屋議長 今回は大きい土地ということで。
- 向山委員 一言書くのであれば、土地が大きいので、委員会としても疑問の声が出たということだけでも。開発するって言っても開発の方まで我々は言えないので、住民に迷惑のかからないような使い方をして貰いたいです。
- 土屋議長 はい、11番。
- 中村委員 5番さん、周りの状況はどうなんですか。
- 山本委員 □側は○があって、その上が椿を植えてあり農家がずっと点在しているんです。□側は半分が別荘地みたいになっているんです。その下は農地等があります。
- 土屋議長 6番委員さんが言われているように文言を付け加えて提出するってことで。これは聞いてくれるかももらえないか分かりませんが、一応つけて農業委員会としては出すと。以上、会長報告を終わります。続きまして日程第2「農業委員会・農業会議提携活動の成果・課題と今後の取り組みについて」事務局から、内容の説明をお願いします。
- 事務局(山田) ご説明いたします。12月9日に東京都農業会議より農業委員会宛の文書が届きました。本日は、来年1月14日開催の島しょ地区農業委員会検討会で発表するため、「大島町農業委員会の成果・課題と今後の取り組みについて」協議したいと思います。参考に去年提出したものを付けさせて頂いております。変更する点や無くしてもいい点、付け加える点、要望を出して頂ければと思います。よろしくお願いします。以上です。
- 土屋議長 ありがとうございます。この件につきましてご意見のある方は挙手をお願いいたします。はい、8番。
- 笠間委員 最後のページのキョンのことについて。たった2行で終わらせているんだけど、町の事業も今年度で終わるということだから、もっと深刻なんだということを東京都に訴える言葉にした方がいいんじゃないですか。これでは余りにも簡単すぎると思います。
- 土屋議長 8番さんから意見がありましたけど、この件につきましてもっと多く付け加えた方がいいのではないかとありましたが、どうですか。どういう文言を付け加えたらいいか、ある程度言って頂ければ。
- 笠間委員 町の事業が終わるから当然東京都でやって貰うようにしないとならないし、元々深刻なんだという状況を訴えていかないと。被害額がどの位だったか算出できないんですか。実際にこれだけの事業をやってもキョンの数は実際には減っていないわけでしょ。
- 事務局(係長) 少し下がっています。
- 笠間委員 もっともっと下げて貰わないとね。
- 土屋議長 はい、4番。
- 小坂委員 増えていますよ。今係長から東京都は少し減っているって言いましたが、それは東京都の意見であって、実際に我々は畑に行き帰りすると、物凄い勢いで増えていますよ。毎日見ない日はないです。最近は凶々しくなって振り返ってみて、逃げなくなっています。昨日か一昨日にテレビでもやったけど、千葉県は最初4千頭位が、今は3万7

千頭だって。大島は猟師がそんなにいないけど、千葉県は倒木してしまって猟師が入っていけないそうです。今、柏まで来ているから直ぐ東京都だって。東京都だけではなく茨城等に直ぐ行ってしまいます。国でも騒いでいる、テレビでも騒いでいる、大島も肌で感じるのは増えていますよ。千波になくなったと言っても、道路を走り回っています。この間は畑に行きながら車の両側を走られてしまって。笠間君が言うようにもう一言何か文言を加えて、東京都に真剣に取り組んで貰うように。

土屋議長

国に対しても同じように。

小坂委員

同じように書いた方がいいかもね。

土屋議長

もっと強烈な言葉ってどういう言葉がありますか。

中村委員

東京都は東京都が管理している場所だから減っていると思っているんじゃないですか。キョンが色々な場所に移動してしまっている。私達もぶつかりそうになったり、道路に横たわっているのを見たり、キョンの生息地が移動しているんじゃないですか。

小坂委員

以前は1頭で走っていたけど、最近は2頭で走っています。

土屋議長

そうですね、以前は1頭ずつって説明を受けたんですけど、今は2頭3頭でいます。

小坂委員

家族でいます。

五十嵐委員

今、小さいのもいるし。

小坂委員

かわいいから追いかけて捕まえて匿おうと思っても捕まらないです、追いかけた位では。

土屋議長

文言を皆さん何かありましたら。はい、6番。

向山委員

国と都に対する要望なんですけど、国に今まで出している要望で何か国から言ってきますか。東京都の場合は確かに網を掛けたり鉄砲を撃ったりしてやっているのは見えるけど、国はどういうのが。

土屋議長

町が国の方に入るんですか。はい、課長。

事務局(課長)

国からの支援は具体的に何もありません。

土屋議長

はい、4番。

小坂委員

ガソリン等の燃料は1010円位国から補助が出ているんじゃないですか。八丈はもって出ています、大島より。今無所属になっている議員さんが結構動いてくれて、やってくれています。まだ続いていると思います。具体的にはそういう例もあります。

土屋議長

はい、6番。

向山委員

今、有害鳥獣のことを聞いたんですが、国の方からは具体的には何もありませんか。東京都はありますよね、今までやっているから。東京都の公園は町が網を張るのから手を引くっていうのは知っているわけでしょ。その分を今度は東京都が大島中全部やってくれるという話ですよ。支庁の方で力を入れるって話だと思ったんですけど。

事務局(係長)

町で張った網については引き続き農家さんで管理して頂くことになります。捕獲された場合は東京都に連絡してもらって、回収等の作業はして頂ける。今はそこまで話はついていません。それ以降とかそれ以上の話については協議の結果お話をしているところです。農家さんの要望としては網が壊れた際にも対応できるようにとの要求があるので、対応して頂くようお願いはしています。

土屋議長

はい、3番。

- 五十嵐委員 町が今年度で終わってしまった場合に、網の対処はして頂いても関わらなくなってしまうということですか。
- 事務局(係長) 関わらなくはないです。情報を貰えればそれを東京都に伝えたり、困ることがあれば我々が東京都にお願いしたり、連絡は常に取り合いますし、東京都のキョン防除事業検討会には入っていますので、引き続き町の要望なり農家さんの要望は町として発言もできます。
- 五十嵐委員 町でそういう要望はできるわけですね、それならいいけれど。
- 笠間委員 網の設置だって新規で頼んだ場合にやって貰えれば、今まで山林だった所を畑にしたい人も出てくるだろうし。
- 事務局(係長) それはこれから出てくるという話は担当同士でしていますし、要望もそういったところも対応できるようにお願いしようとは思っています。
- 笠間委員 東京都に連絡して千葉県に比べて大島なんかは地域が狭いわけでしょ。海に囲まれているということはあるけど、絶滅させる位の勢いでやって、モデル事業モデル地域みたいにすれば千葉県だってそれを真似して出来ることあると思うんですよ。東京都の独自にやって絶滅させちゃえば、大島でどうやってやるのかってなれば、そういう方法も出てくると思います。東京都もその位の気持ちでやって貰いたいですね。やっています、やっていますで結果が見えないのでは、返事だけなら私達が言っても同じことだからね。
- 五十嵐委員 最近放送もないから銃では千波のところはやっていないですよ。
- 向山委員 くくり罟は気を付けないとですよ、人間に掛かっちゃって、取れなくなって大変でした。
- 五十嵐委員 そうじゃなくて銃の音が聞こえない。
- 土屋議長 都に要望はどうしたらいいですか。付け加えでもう少しありましたら。
- 向山委員 欲を言えばもう少し今まで以上に力を入れて取り組んで貰いたい。
- 土屋議長 捕る数が少ないから、もう少し多く捕るように。
- 向山委員 お金はかかるけどね。年間の東京都の予算があるでしょ、例えば1億円の予算で年間千頭捕ったとして2億円掛ければ2千頭位捕れるような計算、お金を掛ければ捕れるか捕れないか分からないけど、もう少し予算を拡大すればもっと捕れるんじゃないですか。
- 笠間委員 予算をどんどん使えばいずれは予算も0になるはずだから、今はどんどん使って貰えばいいのね。どんどん予算が多くなるんじゃなくて、最終的には0になるのが目標なんだから。
- 土屋議長 はい、吉田推進委員。
- 吉田推進委員 絶滅を目指してとか、大体最初の取っ掛かりが0にするって話で始めているんだから、それを書いてみてくれませんか。
- 土屋議長 0にするって言っていたんだから、もっと真剣にやっってくださいってことですよね。段々増えていることだから。
- 笠間委員 今まで以上にね。
- 吉田推進委員 公園が元々の原因だし。
- 向山委員 今まで以上に力を入れて貰ってやるしかないですね。
- 笠間委員 今の状態では農家は納得していないんだから。
- 土屋議長 はい、2番。

- 春木委員 政界の専門家がキョンは臆病だから町に出てこないって言っています。三原山の方で銃をバンバン撃っているから、今は町中で見ます。○の店の前とか口の辺りとか。段々海岸線や町中に来ていますよね。1頭ではなく親子とか2、3頭まとめて見ます。町中で畑網かけると飼い猫が引っ掛かるからとか、色んな制限があって、私も申し込んでいるんだけど一向にやってくれないんです。猫がかかったら朝逃がせばいいだけで、町の部落の中で罾をいっぱい掛ければ、箱網でも量は捕れると思うんですよ。
- 土屋議長 はい、11番。
- 中村委員 今、2番さんも私も同じようなことをさっき言ったんですけど、何しろキョンの生息地で銃をバンバン撃っているから、逃げてきて町中に確かにいますね。
- 土屋議長 強烈な意見を書いてください。キョンのことについてはこれでいいです。他のことをお願いします。
- 小坂委員 消費税が10%に上がったんですけど、都内の人又は国に住んでいる人に比べて島しょに住んでいるって人は余分に消費税を払っているんです、同じ分についても。消費税を島しょに限って10%より安くしてくれるように。
- 土屋議長 東京都の方ですか。
- 小坂委員 東京都と国の両方で。
- 土屋議長 消費税は運賃から何から全部にのると思うから。
- 小坂委員 特に燃料とか生産資材、これに全部掛かってきます。国から生産資材を持って来て、島内で作っているものは殆どない、みんな国から持って来るんですから、肥料から何から。
- 土屋議長 はい、2番。
- 春木委員 国の方はキャッシュレスってお金を使わなければ5%還元や10%も還元するところがありますよね。大島はそれが無いから。
- 五十嵐委員 もうやっています。
- 春木委員 全部ではないでしょ。特に○とかそういう機械を入れて還元して貰えればね。キャッシュレスが使えるような機械をどんどん商店が入れてくれれば、安くなりますよね。
- 土屋議長 国や東京都に要望ですから、消費税が上がったら島しょは運賃も掛かっているんだし何とか還元してくれないかって。
- 笠間委員 『生産資材、燃料等について島しょ地区への特段の支援を引き続き望む。』ってありますが、こうやって書かずに例えば今言ったとおり消費税が上がった分負担をして欲しいとか。ただ特段の支援をしてくださいでは、やっていますよって言われればそれまでだし。消費税で上がった分とか一般に言われるポイント位は補助して欲しいとか、具体的に数字を挙げた方がやってくれたかどうか分かり易いんじゃないですか。肥料等の運賃の100%補助を望むとあるが100%補助されているんですか。
- 土屋議長 されていないです。はい、2番。
- 春木委員 ○に行っても、担当者も幾ら割引になっているか分からないんですよ、何回か前に聞いたことがあるんですけど。分からないのに何で割引できるのかなと思って。分かり易く割引率を発表してくればいいんですよ。ガソリンは分かり易いんです、10%って最初に言うから。

- 小坂委員 ○が運んでその運賃を貰って農家から運賃を取る。そしてその分を東京都へ請求する。人件費も大変だっているのにその書類が面倒臭いみたいよ。以前そんな話を聞いたことがあります。だから○はやらないそうです。東京都はやっているんだけど、書類があがって来なければ出さないってことになるんだから。生産資材の運賃については、前に50%とかって話はあったけど実際にはやっていないんじゃないですか、。
- 春木委員 切り花の運賃値下げはやっていますよね。分かり易いですよね。1/3位になっていますからね。同じ郵パックで比較すると。
- 土屋議長 どうですか、国に対しての要望は。この文言でよろしいですか。付け加えるのはキョンのところでよろしいですか。
- 五十嵐委員 それと精算しないんですか。
- 土屋議長 なるべく安くってところですか。どの位のパーセンテージで補助されているかも分からないです。
- 小坂委員 笠間君が言うには消費税を値上げした分だけ値上げしないでほしいってことで。具体的な数字を示すんだったら。
- 土屋議長 生産資材の島外出荷の運賃ですよ。消費税値上げた分の値上げをしないようにという要望書でよろしいですか、皆さん。
- 笠間委員 書く順番はどれが1番でどれが2番でっていうのは難しいけども、例えばキョンはこれを見ると最後に付け加えたって風に捉えちゃうと大したことはないのかなと、見る人達が。それを1番に持ってくれば1番最後に書いてあったのが1番最初に書いてあったら深刻になってきているのかなと。かと言って燃料を最後にすれば燃料は適当でいいのかってなっちゃうから、それはちょっと。
- 土屋議長 書き順はこれでいいですか、それとも書き変えますか。
- 小坂委員 キョンを一番上に持ってくればいいのでは、後は今まで通りで。
- 事務局(山田) はい、分かりました。
- 土屋議長 他にありますか。はい、11番。
- 中村委員 2、3日前の七島新聞にブバルディアの新品種が出たとカラーで3つ載っていましたね。いつ頃から農家さんに配付出来ますか。
- 土屋議長 ブバル農家にいつから配付出来ますか、中拂さん。
- 中拂委員 まだ市販されている段階ではなく、ただ来年度からは試作ということでブバルディアの方に苗が供給されることにはなっています。
- 土屋議長 他にありますか。はい、課長。
- 事務局(課長) 取り組み状況等は今年度と昨年度と違っているところもあるので、その辺は事務局の方で修正させていただきます。例えば協力体制で島外での自主研修を実施しているが今年度は自粛したとあるが、今年度は行っているんで、事務局の方で修正します。もう一つ気になったのが農家座談会の開催のところで、開催していないとなっていますが、今後台風災害の関係で説明会のような形を考えているんですけど、例えば農家座談会の開催に合わせて町が説明するみたいなこともできると思うんで、実際どうなるか分からないと思うんですけど、それも合わせて変えさせて貰った方がいいのかなと。

- 土屋議長 自主研修の方はいいですが、農家座談会の方につきましてはどうか、皆さん。以前は農業委員と認定農業者の話し合いをやったんですけど、中々集まらないってことで止めたんですが、今回は15号台風の災害被害で町の方で座談会を開くと提案がありましたが、どうですか皆さん。やった方がいいと思いますか。
- 事務局(課長) 町の説明だけしてくれればいいってことであれば、別にそれでもいいですし、座談会をやるんでそこで交えてやってほしいってことであれば、それでも構いませんし。
- 土屋議長 はい、4番。
- 小坂委員 農家との話し合いはやるってことをこの間決定しています。それを2月頃って話はしてありましたよね。
- 土屋議長 農業会議との話し合いです。
- 小坂委員 農業会議は農業会議。その他に農家との座談会っていうのか、話し合いを本当は毎年やらなくてはいけないことをずっとやっていなかったわけで、今年はやろうってことになりました。その時に決めてあるはずです。農業会議の方は講習をやってほしい、それも決まっているはずです。農家との話し合い、これいいじゃないですか。今回は台風15号、19号の災害で町が開催してくれれば農家も一番いい。一緒にやるのでいいと思います。
- 土屋議長 ただ今、4番委員さんが意見を出して頂いて、町と一緒にやった方がいいということで、皆さんどうですか。
- (~賛成の声多数~)
- そういうことで、一緒にやります。はい、橋爪推進委員。
- 橋爪推進委員 今の内容で対象は認定農業者でなく農家って括りの解釈でいいですか。
- 土屋議長 町が絡むと認定農業者と農家は一緒ですから。認定農業者だけですと特定になってしまうので、農家って付けば認定農業者になっていない人でも入ることになります。
- 橋爪推進委員 分かりましたけど、線引きっていうか。
- 土屋議長 線引きはないです、農家皆でしょ。
- 橋爪推進委員 はい、分かりました。
- 土屋議長 はい、5番。
- 山本委員 町との話し合いはいいんですけど、せっかく補助金が出ているのに、凄く使い勝手が農家として難しく、縛りが強すぎて実際使えないんです。補助をもっと簡単に受けられませんか。本当に使える人っていうのは新規に始めた人とかじゃないと使えないから、もう少し縛りを緩めて貰うと農家としては助かるのではないかと思うんですけどね。
- 土屋議長 町の方ですね。座談会でその話をして頂ければ。農業委員ばかりでなく農家の人に集まって話して貰えれば。そこで課長さんにどういう訴えを東京都や国に出すか考えて頂きたいと思います。他にありますか。「農業委員会・農業会議提携活動の成果・課題と今後の取り組みについて」は、ただいま意見を頂いたので、大島町農業委員会として回答するでよろしいですか。続きまして日程第3「その他」について、事務局よりお願いします。
- 事務局(山田) 「農業委員会便りについて」です。12月23日、農政部会が集まり来年の農業委員会だよりの構成を考えました。来年の2月1日発行を目指して進めています。構成につい

てお手元にお配りしました農業委員会便り、少しめくって頂いてこちらの構成案でよろしければ、この通り進めさせていただきます。加えるものとかございますか。

土屋議長

はい、6番。

向山委員

2Pの農地利用最適化推進委員についてなんですけど、4名って書いてあるんですが3名でしょ。次のページの農地利用状況調査の中に11名の農業委員と4名って書いてありますが、これも10名と3名。2、3行下に違反転用の発生防止・早期発見等について取り組むことを目的として農地パトロール実施しています。もしできれば、農地パトロールを実施しています。に訂正して頂きたい。それと島内の有害鳥獣対策について真ん中辺りに大島事業の捕獲数は100頭に満たずって書いてありますが、これはどういうことですか。

土屋議長

大島町が捕った数です。

向山委員

そんなに少ないんですか。

土屋議長

東京都とは違います。

向山委員

少ないですね、あれだけ手間暇かけても100頭満たない。

小坂委員

だから減ってはいないんです。今の町の網では、ただ畑の作物を守るだけでキョンを捕ろうとしているわけではないから。箱罠入れても中々入らないです。

事務局(係長)

町がやっている事業での捕獲数は100頭弱です。町でやっているのは防除です。防除をしながら捕獲できれば捕獲ってところですので、捕獲第一ではありません。先ほど春木さんが猫の話で錯誤とか話が出たように、我々は事故が怖いんです。何処かの隣近所の飼い猫を引っ掛けて殺しちゃったとなると、ご近所トラブルに繋がります。住んでいる方全員が全員キョンの防除事業に理解がある農家さんではありません、普通の方もいます。そういった地域の中で町の事業の罠を仕掛けるのは凄く気を遣ってやっています。その辺は皆さんご理解を頂きたいと思います。全部が全部海老網で全部囲ってしまえ、それはそれで構わないかもしれませんが。ただ猫や野鳥を引っ掛けます、そういう事故が起きます。そうなるのと全てのキョン事業について反対する人も出てくるかもしれません。ある程度折り合ったところで事故の無いように。27年の後半から大島町事業をやっていますけど、今私の所には1件も事故やトラブルの報告はありません。皆さんのご協力やご理解があって、見守りをきちんとして頂いたこともあるので、100頭は少ないという意見がありますけども、我々が捕っているのは山で捕っているキョンではなく、市街地で捕っているキョンです。向山さんの畑を荒らしているキョンを捕ったので、その1頭のキョンは被害がなくなる1頭です。山で捕る1頭のキョンと町で捕る1頭のキョンの意味を理解して頂けるとと思います。以上です。

向山委員

分かりました。

小坂委員

網もそうですが、家の箱罠で猫はしょっちゅう掛かっています。

中拂委員

殺すことはないですよ。

小坂委員

気が付けば放してあげるから。

事務局(係長)

全員が小坂さんのように毎日見て掛かっているのが分かり、出してくれるという方だったらいいのですが、実際そういう方ばかりではないので、そういったところも怖いです。毎日畑に行っているという人については網を掛けたり箱罠を設置したりしています。私

は2、3日に1回ですという人や畑の奥まで行かないという人についてはゴルフネットだけにしましょうとご案内しています。

小坂委員 豆の網も怖くて、豆を食べに来た鴨を猫が狙い豆の網に掛かって、豆を作っている人が餌をくれようとするんだけど、牙をむいてフーフー言っていて怖くて側に寄りつけないと。家の猫かも知れないと思い行ってみたら家の猫でした。網をハサミで切って結局8日間網に掛かっていました。網が絡んで尻尾は千切れてしまい、足は血が通わなくなっているから膿んでしまい、治すのに3ヶ月位掛かってしまいました。その猫は最後まで私の所から離れなくて、枕元へ段ボールに入れて3、4年生きました。

土屋議長 はい、6番。

向山委員 個人的な話になるんですが、ワイヤーのくくり罠っていうのがあるでしょ。藪のあちこちにあって分からないように張ってあるから気を付けないと。下手に掛かると力を入れれば入れるほど絞まってしまい1人では取れなくなってしまう。

土屋議長 くくり罠は大島でやっていますか。

向山委員 助けてくれる人が誰かいればいいですが、いなければ藪の中で1日中縛られたままになります。気を付けないと。

小坂委員 1人では外せないですか。

向山委員 外せないです。切る物でも持っていればいいですが。

五十嵐委員 大島でもやっているんですか。

向山委員 ○がやっています。私はこの前、足に引っ掛かってしまって。

小坂委員 人間が掛かっちゃったって言うけど。

向山委員 取れなくて大変でした。

五十嵐委員 農地パトロールで中に入ってますか。

小坂委員 農地パトロールでなくて財産区の下刈りに行って掛かったって言うから。

向山委員 足に何か掛かって、藤つるか何かだと思って力を入れたわけ。力を入れれば入れるほど絞まっちゃって二進も三進も外せなかったです。相手がいたから呼んで外してもらいました。1人で居たら取れなかったです。危ないですよ、気を付けた方がいいです。

小坂委員 新島のやり方ですと掛けてあるのが分かりますよね。鹿が通るように竹の棒をずっと指してそこしか通れないようにしてあるんです。

春木委員 あのやり方はいいですよ。

小坂委員 あれだと人間が見て分かるんです。

向山委員 テグスみたいになっているから分からないです。

土屋議長 他にありますか。はい、2番。

春木委員 昨日、保健所に行ってきたんですけど、馬・牛・豚まではと殺場が必要でキョンはと殺場はいらないけど肉処理場があると言っています。ただ肉処理場にかなりお金が掛かるので、大変だろうと。

土屋議長 ここに書いてあることは書いた方がいいですね。他にありますか。はい、10番。

中拂委員 普及指導センターよりという文章であちらから送られてきたものなので、余り手直しはできないと思うんですけど、『ブバルディアの生産量・出荷量は減少しており、産地を

維持するだけでなく、島の活性化を図る上でもブバルディア生産の振興が求められています。』というのが2重になっているように思うんですけど。これは少しまずいなと。

五十嵐委員 数字が横になっています。

中拂委員 そうですね、数字が横になっているのも、あちらから来たのかどうか分かりませんが、何か意図があるかも知れませんが、いい加減でよくないのかなと。

事務局(山田) 私のミスです。

土屋議長 ということなので、訂正します。他にありますか。

五十嵐委員 今回支庁さんの資料がないので、この前皆さんに調査して頂いたハウスの被害数を途中何処かに入れさせて頂きたい。

小坂委員 いいですね。

五十嵐委員 細かいのはやらないで、ハウスの全損・半壊が何件・何棟とやります。お願いします。

事務局(係長) かつこ農業委員会調べで。

五十嵐委員 はい。

事務局(係長) 私もいいですか。有害鳥獣対策について、昨日打ち合わせの後、私の方で確認してみたんですけど、こういった形でよろしいですか。先ほど笠間さんから順番の話がありましたけど、ジビエ化について書いてある通り、町としてはジビエ化を考えていないことと、やはり農業委員会としてはジビエ加工品等の前に農地を守るという立場が私的には正しいのかなと思っています。個人的にそれぞれ個々ではジビエ化もいいのではないかという話も色々あると思うんですけど、農業委員会だよりは農業委員会の言葉ですので、あくまでジビエの前に先ほど笠間さんが言ったように、もっと農地へ捕獲圧強化というのを入れた方がいいと思い、こちらの文章にしました。確認頂きながらジビエ化もという気持ちがあれば書いて頂いても結構ですけど、それを書くとなんか大変なことになると思います。

向山委員 前にもそういう話は農業委員会で言ったんですけどね。やる人がいない採算に合わない。

土屋議長 キョンを捕ったのが千頭位ずつ増えているのに31年になって2年位減ってしまったんですよ。

事務局(係長) 台風の影響です。前年よりはよくないと速報で分かります。

土屋議長 農業委員会だよりはこの辺でよろしいですか。

事務局(山田) 会議終了後に集合写真を撮りたいと思います。

土屋議長 皆さん終わったらここで撮りますので。何かありますか。はい、事務局(山田)。

事務局(山田) 「大島町農業委員会自主研修について」です。

土屋議長 代表して新保さんお願いします。

新保委員 ざっとですが間違いとか訂正して頂けると助かります。行程は11月26日～29日朝までになります。東京まで行って新幹線で岡山まで行きます。岡山から特急に乗りまして途中アクシデントが高地の瀬戸内のところで地震があり、普通列車に乗り換えました。線路を調べているので、行先はとてもしゃないけど分かりませんというお話でした。多度津駅過ぎた辺りから途中で何度か行けそうだという連絡がありました。途中で特急電車に乗り換えて1時間ちょっとの遅れで何とか松山に着くことが出来ました。第1の行程がアボカドの生産している指導センターに午前中行きました。そこはハウスが殆ど

で、背の高さはそんなに大木にならない程度に切り詰めて、綺麗に肥培をしてやってもらわれました。そこで結構種類が幾つかありまして、選べば何んとか生産は可能じゃないかと思われま。午後から中央農協さんで昼食をとらせて頂きました。その隣には販売センターがあり、かなり大きなところでした。その後にはみかん紅まどんなの郷に行きました。そこは山の標高300mと言っていました。なだらかな斜面に紅まどんなのハウスが7棟ほどありました。昔はぶどうを作っていたらしいです。ハウス全体の紅まどんなはかなりの幹の高さがありました。路地には紅まどんなと甘平の2種類。甘平というのは丸くなって平たい形をした新品種を作ったそうです。紅まどんなの試食をさせてくれたんですけど、確かに甘くて皮も柔らかいし実も柔らかいみかんです。食べ方に工夫がいらすって話でした。確かに美味しかったです。周りを見回してみますと農家さんは甘平と紅まどんなだけを作っていました。周りにはぶどう畑とか、なだらかな傾斜地を利用して作っておられたっていうのはやはり気候条件にあったと、場所にあったとこだなど見て回りました。視察の主な目的はあったんですが、大島では少し難しいのかなという気がしました。以上です。

土屋議長
春木委員

その他行ってきた人で補足説明がありましたらお願いします。はい、2番。
肥培管理なんですけどハウスの中でしたから、かなり頻りに水をやるそうです。それと肥料は成分のなるべく少ない8, 8, 8, 以下、なるべく4か5位の肥料を月に2回、年24回やるそうです。私のところは冬場に肥料を1回しかやっていないので、肥料不足かなと痛感して参りました。実はかなり生っていましたので、肥料をやれば来年はいっぱい生るのかなと思って見て参りました。以上です。

土屋議長
小坂委員

他にありますか。はい、4番。
港町祭っていうのは直販所をJAえひめ中央がやっているんですが、1階にえひめ中央おひさま食堂とCAFÉやパン工房、金融店舗貯金共済窓口、賃貸不動産無人検索機っていうのがあります。これが1階です。2階にJAおひさま保育園があったのにはびっくりしました。0歳から2歳まで預かっているようですが、定員18名のところ9名、その9名は職員の子もだそうです。それからキッチンスタジオ、ローンセンター、資産相談課、ホールが一ヶ所に。普通直販所っていうのは郊外の方にあるのが多いのですが、そこは松山市でも市内にあって普段から観光客とかもちろん来るんですが、それだけではなく市民が皆自転車に来て直販所に寄って、普段の買い物をして帰りはご飯を食べてお茶を飲んで帰るそうです。土曜とか日曜とかだけでなく、普段から込み合っているような感じでした。白菜の4つ切りは100円、大きい白菜です。大島に来てみたらその2/3位が160円位していました。それで大島の白菜は枯れ始めていました。国から来るから仕方ないけど、あちらは朝畑から持って来て農家がきちんと管理してやっているそうです。入ってみて一番気が付くのは活気がある。JAえひめ中央っていうのは最初12店舗が合併したそうです。その内島しょと同じように2店舗が赤字だったそうですが、今は全部黒字だそうです。アボカドは松山市農業指導センターでは職員と農家と市の職員とで市場調査をするそうです。東京中央市場に来て大田の卸ではなく中卸の方に行って市場調査をして、今売れているもの、これから売れそうなものがアボカド・ユーカーリ・紅まどんなで、栽培して作り方を自分で研究して苗を作ってそれを安く農家に

分ける。幾らで分けているのか聞いたら、教えられませんが物凄く安いですと言っていました。ユーカリも挿木して、それは特許を取ったみたいです。それも教えて貰えませんでした。挿木してある状態を見せて貰いました。土は何を使っているか触るわけにもいれないし分かりませんでした。安く揃った苗が農家にいっているそうです。挿木は2、30%つくのを50%まで持っていきたいという話でした。私が去年ユーカリを挿してみたところつきが悪く、個人で普通に挿すと100本挿してつくのは5本です。それを20%から30%つくってというのは大したもの。アボカドについては春木さんが話したように農業指導センターのハウスで作っていました。やはり混色で一品だけでなく色々な種類を植えて全部の木に生っていたのですが、鉢植えになっているのに1つ実が生ったのにはびっくりしました。6年位前に町で買って貰った種類の中にハスがあります。今、商店に売っている品種です。ベーコン、フェルテ、ピンカートンは大島で誰か作っているのか分からないけど、ベーコンとフェルテは私も作っています。肥料が少ないってことと水が少ないのか、実が生らないです。大島は結構水があると思うんだけど。今年は生るかどうか。販売金額はkg1,300~1,500円位。大きさが300~400g位。これをJAで販売したり市内の八百屋で販売したり1個300円位で販売していました。剪定しては駄目だって言いますが全部剪定していました。日に当てなければ駄目だそうです。この剪定というのは普通の家事と同じような感じがしました。以上です。

土屋議長

その他、ご意見はございますか。特にないようですので、これをもちまして第9回大島町農業委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

この会議録は書記が調製したもので、その内容については相違ないことを認め署名する。

大島町農業委員会

委員

大島町農業委員会

委員